

# 顧客とブランド育成大切

## 山形 伊藤園元専務・社氏講演

伊藤園（東京）の「おいお茶」を開発した、元同社専務執行役員の社三雄氏（横浜市）を講師に招いた講演会「ゼロから始めるブランドづくり」が27日、



講演する社三雄氏

山形市・県産業創造支援センター

山形市の県産業創造支援センターで開かれた。社氏は俳句コンテストなどの消費者を巻き込んだ取り組みで他社との競争を勝ち抜いてきたとし、顧客と一緒にブランドを育てることの大切さを説いた。

社氏は衰退する緑茶市場を再興しようと、同社が飲料事業に乗り出した経緯を紹介した。巨額の広告費を持つ大手と渡り合うため、1989年から消費者参加型の俳句コンテストを開催。ペットボトルのラベルに入選作品を掲示する企画

は人気を博し、緑茶飲料業界トップのシェア堅持につながたと振り返った。

ブランド確立の前提条件としては「顧客満足を重視し、自己満足に陥らない」ことを挙げた。自社の強みを客観的に分析し、「どのような価値を提供できるか、どうなりたいのか、理念とビジョンの策定が必須」と説明。「日常生活に溶け込むと、巨大市場をつくる可能性がある」とし、「小さな成功を積み重ねていくと芽生えるものがある」と呼びかけた。

やまがた産業支援機構が主催し、中小企業の経営者ら約40人が聴講した。

（上村耕平）